2023 年 9 月 8 日

スーパー耐久シリーズ第 5 戦　モビリティリゾートもてぎ

ホームコースのもてぎ　トラブルを抱えながらもクラス 4 位で完走

9 月 2 日(土)～3 日(日)、モビリティリゾートもてぎ（栃木県）にてＥＮＥＯＳ スーパー耐久シリーズ 2023 Supported by BRIDGESTONE 第 5 戦 が開催され、5 時間フォーマットのレースに Honda R&D Challenge FL5 で参戦しクラス 4 位で完走を果たした。

QUALIFY / 予選

9 月に入っても猛暑のレースウィークとなり、人も車も厳しい環境条件で予選日を迎えた。木曜練習走行から発生していた燃料系のトラブルがこの暑さにより悪化し、午前中のウォームアップ走行でもエンジン出力が 100％発揮できない状況となった。メカニックが予選までの間に可能な限りの作業を実施したが、B ドライバーの木立が走行するときにはさらに事象が悪化し、トップに対して 15 秒もの差がある状況。
別のトラブル発生の可能性もあることから原因究明に時間を使うため C/D ドライバーの予選出走はキャンセル。予選通過タイムを記録できなかったため、決勝は嘆願書により決勝出走が認められることとなった。

＜予選リザルト＞

Pos.	No.	Car	A Dr. Time	B Dr. Time	Total Time
1	6	新菱オート DIXCEL 夢住まい館エボ 10	2’08.214	2’06.624	4’14.838
2	225	KTMS GR YARIS	2’09.638	2’08.486	4’18.124
3	7	新菱オート DIXCEL エボ 10	2’09.465	2’08.755	4’18.220
4	13	ENDLESS GR YARIS	2’10.171	2’08.666	4’18.837
5	**743**	**Honda R&D Challenge FL5**	**2’16.758**	**2’21.573**	**4’38.331**

RACE / 決勝

事前の予報では雨も降る可能性があったが、当日朝の天候は快晴。スタートを迎えるころには気温は30°Cを超え、路面温度も 50°Cまで上昇していた。メカニックの懸命な作業により予選後のトラブルシューティングで原因と思われる部品を見つけ出し、さらなる熱対策も施したことで万全の状態で決勝のグリッドに整列。ホンダのファンも多く見守る中 5 時間の決勝がスタートした。スタートドライバーは石垣選手。車両の状態をチェックしながらペースを上げていこうとするが、予選時と同じ症状が再発。状態も変化することから確実に完走することに戦略をシフトした。細かく無線で状況をやり取りし、2 回のスプラッシュを経て 42 周目に小林選手へ交代。石垣選手からの情報をもとに確実にラップを重ね 69 周目に木立選手へバトンを繋ぐ。トラブルを抱えながらも安定したペースでラップし 102 周目にアンカーの柿沼選手へ交代。他車のトラブルもあり現時点で 4 位を走行。このままフィニッシュを迎えられると思った矢先、残り 10 分というところで症状悪化の無線が入る。戦略担当の適切な指示によりペースをコントロールし確実にチェッカーを目指す。7 回にも及ぶピットストップでもミスなく作業したメカニック、刻一刻と変化する車両状況でもブレることなく指示を出し続けた戦略担当、灼熱の環境でメンバーをサポートした監督、マネージャー、全員の力によりクラス 4 位で無事にチェッカーを受けた。

<決勝リザルト>

Pos.	No.	Car	Laps	Total Time	Gap
1	225	KTMS GR YARIS	131	5:03’56.005	
2	7	新菱オート DIXCEL エボ 10	130	5:02'14.983	1 Lap
3	13	ENDLESS GR YARIS	130	5:03'33.191	1 Lap
4	**743**	**Honda R&D Challenge FL5**	**119**	**5:02'09.592**	**12 Laps**
5	6	新菱オート DIXCEL 夢住まい館エボ 10	109	5:02'03.115	22 Laps

ドライバーコメント

A ドライバー 石垣博基

レースウィークが始まってすぐにマシントラブルに見舞われ、予選・決勝とも期待していたような成績は得られませんでしたが、レースウィークを通じてチーム全員ができる事をやり切り、車両セットアップの確認や新しいパーツ＆アイテムのテストもできましたし、もてぎでも FL5 の戦闘力の高さを感じることはできました。

とても厳しい状況でも完走を果たしポイントを獲得したことでランキング 2 位を守り、僅かながらも最終戦にチャンピオンの可能性を残すことができました。朝から晩まで労をいとわず作業してくれたチームメンバー達に感謝しています。

残暑が続く非常に蒸し暑いコンディションでしたが、多くの方にサーキットへ足をお運びいただき応援いただけたことが非常に嬉しかったです。ここに厚く御礼申し上げます。

B ドライバー 木立純一

予選はトラブルを抱えたままの走行となりましたが、A ドラ予選よりも症状が悪化し本来の性能を発揮することができませんでした。決勝は 3 スティント目を担当。チームからの指示を守り走行しましたが、トラブル症状を抱えたままの走行となり、エンジン回転数を抑え 33LAP 走行して柿沼選手にバトンを繋ぎました。レースウィーク中、トラブルシューティングや対策の為の作業を何度も対応してくれたチームメンバー、猛暑の中応援に来て頂いた皆さまに感謝致します。次戦はいよいよ最終戦となります。まだシリーズチャンピオンの可能性が残っておりますので、最後まで諦めずチャレンジして参ります。引き続きご支援よろしくお願いいたします。

C ドライバー 柿沼秀樹

炎天下の中トラブルを抱えながらの決勝となりましたが、スタートから 3 人のドライバーがマシンを上手く持たせてくれて、5 時間レース完走まで残すところ 45 分の所で最終のバトンを受け取りました。不具合症状と燃料消費に気を遣いながら、次々と近づいてくる後続車とのトラフィックマージンも保ちつつ何とかゴールまでクルマを運ぶ事だけを考えて走行しました。

レースウィーク初日からトラブルシューティングに全力を傾けてくれたチームメンバーやご協賛各社様への感謝と共に、猛暑の中地元もてぎ戦で熱いご声援をたくさん下さったファンの方々に心から御礼申し上げます。

FL5 本来のパフォーマンスで最終戦を飾れる様しっかり準備を図って参ります。

D ドライバー　小林天翔

　前戦のオートポリスから約 1 か月という短いインターバルで迎えたもてぎラウンドですが、今まで一番多く走ってきたコースであり、取り組むべき課題も明確になっていたことで比較的リラックスした状態でレースウィークに入ることができました。
トラブルが悪化する前の走行で他のドライバーに対して改善ポイントも明確になり、タイム的にもオートポリスほどの差はなく確実にステップを踏んで行くことができていました。
　今回はトラブル対応によりメカニックや戦略に大きく負担がかかる中、懸命に何度も対応にあたってくれたチームメンバーに感謝しています。
次戦は最終戦となりますので今年の集大成をお見せできるよう、チーム一丸となって最後まであきらめず戦ってまいります。
　暑さ厳しい中サーキットまで足を運んでくださった皆さま、中継や SNS を通して応援してくださった皆さま、サポートくださった皆さまに感謝いたします。

チーム監督コメント

　前戦のオートポリス戦に引き続き若手ドライバーを登用し、5 時間フォーマットとしては初めて 4 人のドライバーが全員チームメンバーでの参戦となりました。前戦から出ていた高い気温による燃料温度上昇に起因するトラブルの対策を図り臨みましたが、酷暑により対策が不十分な状況がイベント初日から顕著になりました。また、マシンだけではなく暑さが人にも襲い掛かり、熱中症のメンバーを二人も出してしまう状況となり、人に対する暑さ対策にも手を抜けない状況でした。そんな欠員が出る中でも各領域を補完しあい、現場で臨機応変に対応する適用力がついてきたことも実感できるイベントとなりました。

　FL5 で初の地元もてぎのレースで高いパフォーマンスを発揮したい気持ちはありましたが、タンク内のガソリンを半分も使えない症状の悪化が進むなか、決勝レース中　今回一番頼もしく感じたメンバーは、今期より戦略を担当している若手メンバーの一人でした。正確な予測が困難なガソリンの消費量からスティント計算を即座に実施し、ロスが最小になる戦略を指示できていました。良い成績にはつながらなかったものの、人材育成の観点でこの成長が見られたことがチームとしての大きな成果となりました。

チーム代表コメント

まずは HRDC の地元（モビリティリゾートもてぎ）開催レースということで、多くの関係者、Honda ファンの方々に来場頂き御礼申し上げます。酷暑の中最後まで応援頂き誠にありがとうございました。今シーズンは開幕から 4 戦連続で表彰台獲得していたので、良い結果残すよう準備してきましたが、レースウィーク初日に発生したトラブルを最後まで改善することが出来ませんでした。一方、チームとしては 4 日間通じ様々な角度から不具合解析や対策を行ったことで、メンバー全員のさらなる成長を実感しました。この経験が次戦以降の活動に活きてくると確信しております。関係各位におかれましては、今回も多くの方にご支援、ご協力を頂きありがとうございました。最終戦の富士スピードウェイでは、FL5 のポテンシャルを最大限発揮できるようにチーム一丸となって逆転チャンピオンを目標に戦っていきたいと思います。引き続きご支援ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

なお、9 月 3 日（日）に開催された“Honda 祭り＠Honda4 輪開発センター”にて、HRDC 車（FK8）の展示を行い多くのファンと交流できたことも合わせて報告致しします。

ポイントランキング

Rank	No	Car	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	Total
1	13	ENDLESS GR YARIS	22.50	45.00	15.00	30.00	18.00	---		130.50
2	743	Honda R&D Challenge FL5	30.00	27.00	12.00	18.00	15.00	---		102.00
3	6	新菱オートDIXCEL夢住まい館エボ10	2.00	37.00	20.00	24.50	14.00	---		97.50
4	225	KTMS GR YARIS	15.00	23.00	10.00	---	30.00	---		78.00
5	7	新菱オートDIXCELエボ10	18.00	---	10.00	---	22.50	---		50.50

次戦は今季最終戦となり、11 月 11 日(土)～12 日(日) 富士スピードウェイ（静岡県）にて開催されます。

引き続きご声援をよろしくお願いします

＜問い合わせ先＞ ※メールでお願い致します。

チーム代表　　木立 純一　Junichi_Kidachi@jp.honda

望月 哲明　Tetsumei_Mochizuki@jp.honda